

登米市公共施設等総合管理計画

- 幼児・児童施設の個別計画 -

令和3年1月

登米市

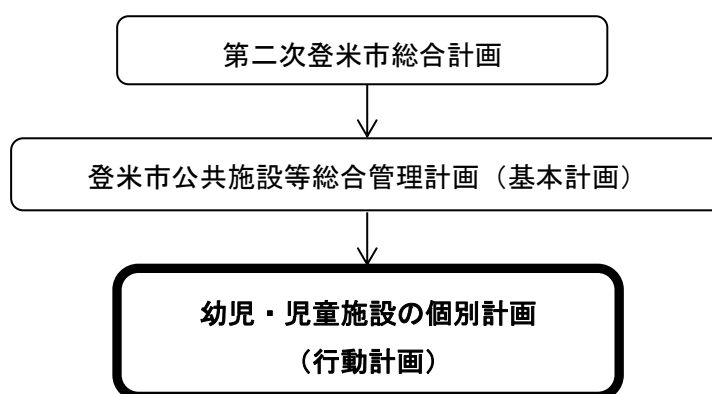
目次

1	個別計画策定の目的	3
2	現状や課題に関する基本認識	3
3	対象施設	
3-1	対象施設一覧	3
3-2	配置状況	4
4	管理に関する基本的な考え方	4
5	施設分析	
5-1	経過年数及び利用者一人当りの公費負担額	5
5-2	利用者数及び公費負担額	5
5-3	m ² 当たりの運営コスト比較	6
6	施設評価	6
7	個別施設の今後の方向性及びロードマップ	
7-1	今後の方向性	8
7-2	ロードマップ	8
8	期待される効果等	8

1 個別計画策定の目的

「幼児・児童施設の個別計画（以下「本計画」という。）」は、幼児・児童施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することを目的として策定する。

なお、本計画は、登米市公共施設等総合管理計画（平成 28 年 12 月）に基づく行動計画として位置付けるものとする。



2 現状や課題に関する基本認識

児童館 4 施設では、自由来館のほか放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）と地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を実施しており、児童活動センター 2 施設においては、放課後児童クラブを実施している。

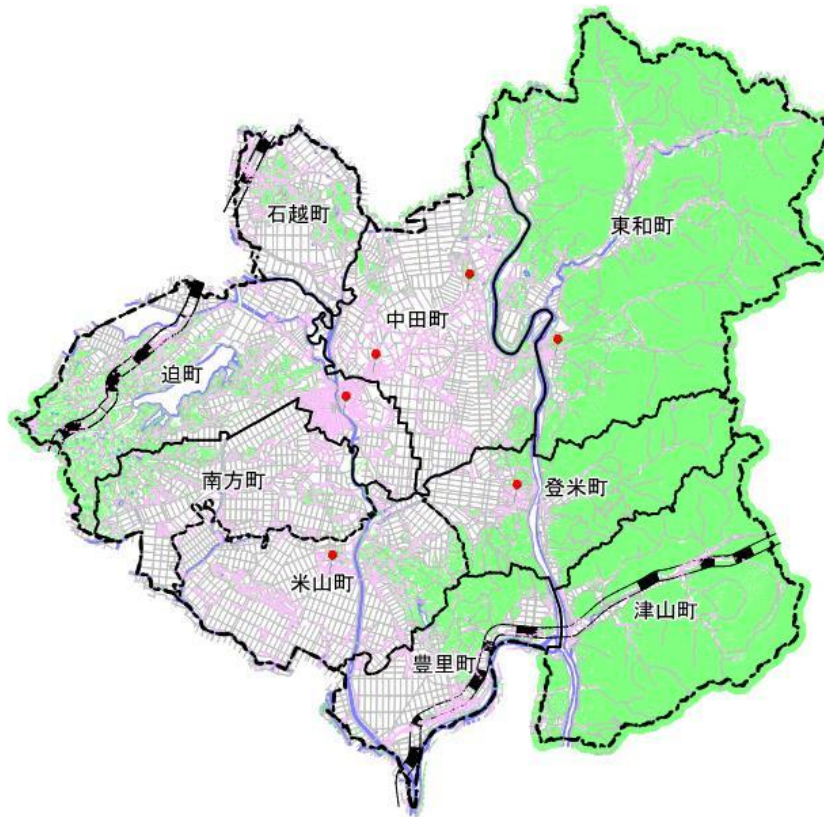
児童館、児童活動センターとも、放課後児童クラブ利用児童の増加に伴い手狭となり、待機児童を抱える放課後児童クラブや施設の老朽化が進んでいる児童館もあるため、今後の利用状況を見据えた施設の修繕や増改築が必要となっている。

3 対象施設

3-1 対象施設一覧

No.	施設名	所在地	建築年 (年)	経過年 数(年)	延床面 積(m ²)	利用者数(人) (H26~H28の 3カ年平均)	公費負担額(H26~H28の3カ年平均)			管理 形態
							総額(千円)	市民一人 当たり(円)	利用者一人 当たり(円)	
1	上沼児童活動センター	中田町上沼	2008	12	169.21	7,758.33	480.67	5.90	61.96	直営
2	中田児童館	中田町石森	2002	18	408.15	19,834.67	2,000.33	24.54	100.85	直営
3	米山児童館	米山町西野	1979	41	552.52	8,572.67	1,250.67	15.34	145.89	直営
4	泊児童館	泊町佐沼	2018	2	1,350.00	27,164.33	1,564.33	19.19	57.59	直営
5	米谷児童活動センター	東和町米谷	1979	41	343.40	2,952.33	415.33	5.10	140.68	直営
6	登米児童館	登米町寺池	2009	11	365.40	15,609.67	1,523.00	18.68	97.57	直営
	平均			20.83		13,648.67	1,205.72		100.75	

3-2 配置状況



4 管理に関する基本的な考え方

子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に策定した「登米市子ども・子育て支援事業計画」の基本方針に定める、「地域みんなで支える子育て家族」の具体的事業である放課後児童クラブの今後の方向性により、児童館で放課後児童クラブを実施している地域では、必要に応じて児童館の増改築を実施する。

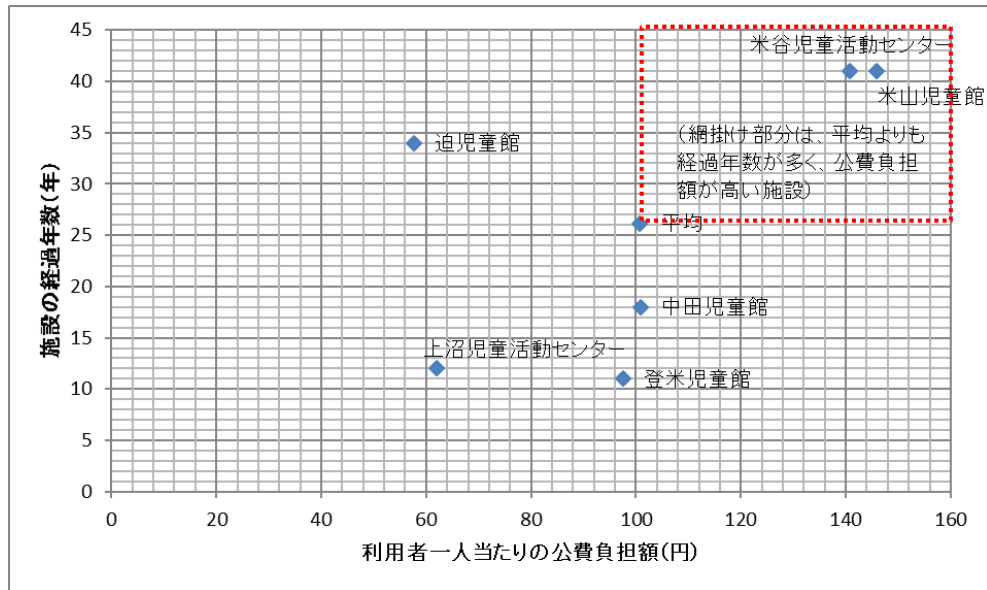
また、放課後児童クラブ等の事業委託と併せ、児童館等の指定管理者制度導入を検討する。

5 施設分析

5-1 経過年数及び利用者一人当たりの公費負担額

施設の経過年数（縦軸）と利用者一人当たりの公費負担額3か年平均（横軸）を比較したグラフである。赤枠内に表示されている施設は、幼児・児童施設分類の平均値より経過年数が多く、公費負担額が高くなっている。

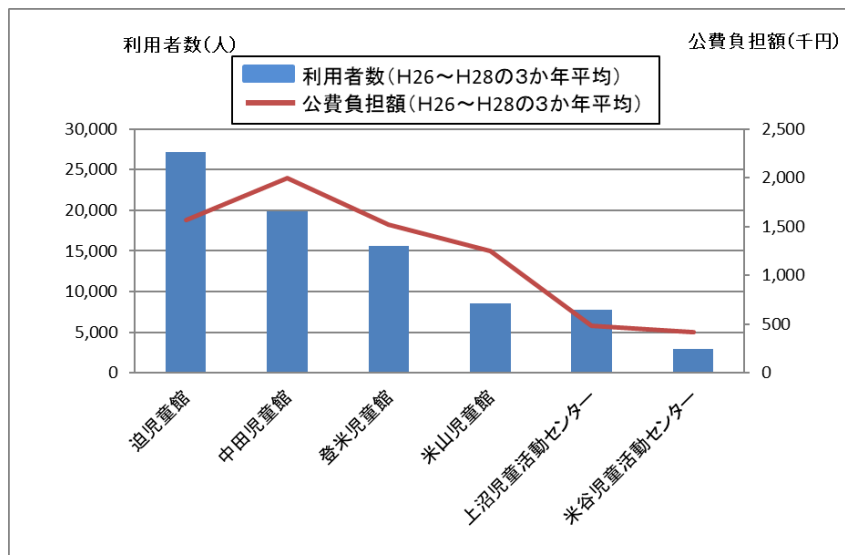
図5-1 施設別経過年数及び利用者一人当たりの公費負担額



5-2 利用者数及び公費負担額

施設の利用者3か年平均（左軸及び青色の棒グラフ）と公費負担額総額の3か年平均（右軸及び赤色の折れ線グラフ）を比較したグラフである。折れ線グラフと棒グラフとの間の長さが大きいほど、管理運営コストが高くなっている。

図5-2 利用者数及び公費負担額

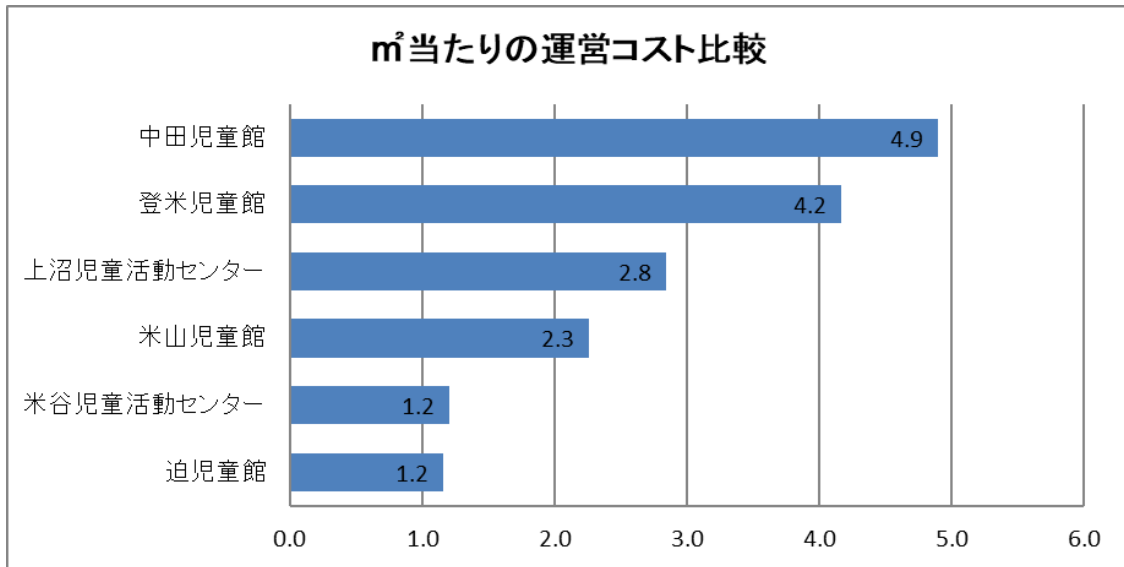


登米市公共施設等総合管理計画個別計画

5-3 m²当たりの運営コスト比較

公費負担額総額の3か年平均/施設の総延床面積を算出し、1 m²当たりの運営コストを比較したグラフである。

図5-3 m²当たりの運営コスト比較 (単位：千円)



6 施設評価

No.	施設名	老朽化程度	耐震強度	利用実績	利用動向	代替施設	施設収支	公費負担	配点合計	カテゴリー内順位
		配点20 評価点	配点10 評価点	配点20 評価点	配点10 評価点	配点10 評価点	配点20 評価点	配点20 評価点	110 評価点合計	
6	登米児童館	16	10	12	4	10	2	7	61	1
4	迫児童館	4	10	20	10	0	2	13	59	2
2	中田児童館	12	10	15	10	0	2	7	56	3
1	上沼児童活動センター	15	10	6	8	0	2	12	53	4
3	米山児童館	1	0	7	0	10	2	1	21	5
5	米谷児童活動センター	1	0	3	0	0	2	1	7	6

登米市公共施設等総合管理計画個別計画

《評価基準》		
評価基準	配点	説明
老朽化程度	20	施設建設からの経過年数により1点から20点までの20段階で評価する。この施設分類では、37年を最大値として1.85年ごとに配点している（年数が長いほど点数が低い）。
耐震強度	10	建物の耐震基準の充足状況の評価する（新耐震基準となる昭和56年（平成30年度時点で経過年数35年）を参考基準とする）。 基準を満たす場合…10点、基準を満たしていない場合…0点
利用実績	20	H26～28年度の3か年平均の利用者数を、1点から20点までの20段階で評価する。この施設分類では、27,164人を最大値として、1,358.2人ごとに配点している。
利用動向	10	H26～27年度の2か年平均の利用者数に対するH28年度の利用者数の増減率を、0点から10点までの6段階（0点・2点・4点・6点・8点・10点）で評価する。 10%以上：10点、10%未満5%以上：8点、5%未満0%以上：6点、 0%未満-5%超：4点、-5%以下-10%超：2点、-10%以下：0点 ※利用実績がない場合は0点とする。
代替施設	10	半径5km圏内に同類施設があるかどうかを評価する。 同類施設あり…0点、なし…10点
施設収支	20	H26～28年度の3か年平均の施設に係る収入額/支出額の割合を、2点から20点の10段階で評価する。 100%以上：20点、100%未満90%以上：18点、90%未満80%以上：16点、 80%未満70%以上：14点、70%未満60%以上：12点、60%未満50%以上：10点、 50%未満40%以上：8点、40%未満30%以上：6点、30%未満20%以上：4点、 20%未満10%以上：2点
公費負担	20	H26～28年度の3か年平均の利用者一人当たりの施設に係る支出額を、1点から20点の20段階で評価する。この施設分類では、2,102.6円を最大値として105.13円ごとに配点している（公費負担が大きいほど点数が低い）。

7 個別施設の今後の方向性及びロードマップ

施設の方向性について

方向性	説明
現状維持	現状のまま維持（建替え及び大規模改修含む）
多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取入れる
集約化	同じ目的の複数の施設を1つに集約
多種見直し	運営方法・使用料等の見直し
広域化	市の公共施設を他自治体等と共有し、他自治体等をコスト分担
規模縮小	規模縮小し建替えする
民間譲渡	民間業者等に売却
転用	施設機能を廃止し他用途へ転用
地域移管	利用者が地域に限定されている場合、地域へ移管
機能移転	機能を移転させ施設は除却
除却	施設を除却し機能も廃止

登米市公共施設等総合管理計画個別計画

7-1 今後の方向性

No.	施設名	施設の状況	計画内容		
		内容	方向性	実施（予定）時期	対策費用 [単位：千円]
1	上沼児童活動センター	上沼児童活動センターは、上沼小学校や上沼ふれあいセンターに隣接した位置にあり、児童クラブを中心として多くの人に利用されている。学校再編の計画により実施場所等を検討する必要があることから、当面は現状を維持することとする。	現状維持	—	—
2	中田児童館	中田児童館は、加賀野小学校に隣接した位置にあり、自由来館のほか、児童クラブ、子育て支援センター事業が行われている。指導員の確保が難しい現状から、利用者の理解を得ながら民営化についても検討する。	多種見直し	第2期（R3-R7）	—
3	米山児童館（物置）	米山児童館は、米岡小学校に隣接した位置にある。児童クラブの利用者の増加により狭隘化していること、施設の老朽化が著しいこと等の要因から建替えを第2期期間の完成で計画している。	現状維持 （建替え）	第2期（R3-R7）	10,692
	171,640				
4	迫児童館	迫児童館は、佐沼小学校及び東佐沼幼稚園に隣接した位置にあり、利用者の増加により施設の狭隘のため、分散して行っている児童クラブを一体的に行えるよう平成30年度に建替えを行った。	現状維持	—	—
5	米谷児童活動センター	米谷児童活動センターは、米谷小学校に隣接した位置にあり、老朽化していること、長期休暇期間は米川小児童と合同保育のため、狭隘化しているが、学校再編の計画により実施場所等を検討する必要があることから、当面は現状維持とする。	現状維持	—	—
6	登米児童館	登米児童館は、登米小学校に隣接しており、児童クラブを中心として多くの人に利用されている。指導員の確保が難しい現状から、利用者の理解を得ながら民営化を検討する。	多種見直し	第2期（R3-R7）	—

7-2 ロードマップ

No.	施設名	施設面積 更新面積	第1期				第2期	第3期	第4期
			H28(以前)	H29	H30	R1	R2	R3-R7	R8-R12
1	上沼児童活動センター	169.21							
2	中田児童館	408.15					多種見直し —		
3	米山児童館（物置）	32.40					建替え 10,692		
	米山児童館	520.12					建替え 171,640		
4	迫児童館	1350.00			建替え 426,915				
5	米谷児童活動センター	343.40							
6	登米児童館	365.40					多種見直し —		

8 期待される効果等

幼児・児童施設における登米市公共施設等総合管理計画策定時保有総延床面積は 2,456.4 m²であり、個別計画の策定により令和17年度保有総延床面積は 3,188.68 m²となる。よって732.28 m²の増となり、約29.81%の増加となる。

幼児・児童施設については、管理運営を民間に任せることが可能な施設であることから、民営化又は学校施設内への機能移転という形で方向性を決定することとし、施設の用途廃止後に利活用の方向性を探ることとする。現状で方向性が決定していない施設は、学校再編との関連も踏まえ、運営方法の見直しを行う。